

平成 29 年度

## 技術交流会

平成 30 年 3 月 6 日 筑波大学総合研究棟 B 0112 室

## プログラム

## 10:00 開会式

- 開会の辞：実行委員会委員長 中原繁男（数理物質系技術室）
- 開会の挨拶：全学技術委員会委員長 木越英夫 副学長

## 10:10 - 11:40 分科会 I

## 夏休み自由研究お助け隊 2017 活動紹介

夏休み自由研究お助け隊 (<https://www.tech.tsukuba.ac.jp/summer/>) は、本学の技術職員が、中学生対象にワークショップを提供する筑波大学の社会貢献事業のひとつです。今回の分科会の形態としては、前半に本年度の活動報告を行い、後半はワークショップの紹介とデモンストレーションを行います。デモンストレーションを交えながら、ワークショップの取り組み方や創意工夫など、意見や情報交換などを参加者と自由に懇談できる形にする予定です。

リーダー：雨谷恵（システム情報系技術室） 当日参加可

## 12:30 - 13:30 分科会 II

## 実験室実習についての情報交換(ピペットの取り扱い)

学内の各技術室で生物・化学・物理などの学生実習を担当する技術職員の業務内容・創意工夫などについて、座談会形式で情報交換及び意見交換を行う場とします。

最初に、参加者の方にはおおまかな組織ごとにそれぞれの担当学生実習およびそれにかかわる業務内容についてプロジェクター等を使用して簡単な紹介をして頂きます。その後、今年のテーマであるピペットの取り扱いについて、次の流れで情報交換・意見交換を行います。

- 1) ガラスピペットの取り扱いについて：手技に関する問題点、指導方法、安全ピペッターやアダプターの使用基準、洗浄方法。
- 2) ピペットマンの取り扱いについて：手技に関する問題点、指導方法、メンテナンスについて、チップの選択について。

リーダー：木澤祥恵（生命環境系技術室） 当日参加可

## 16:20 閉会式

- 閉会の辞：実行委員会副委員長 小野雅晃（システム情報系技術室）

## 13:45 - 14:45 分科会 III

## 樹脂の工作技術に関する勉強会

樹脂材料は金属材料と比較すると一般的に機械強度が小さい、耐熱温度が低い、切削抵抗が小さいといった特徴があります。工作機械での加工を考えたときに機械強度が小さいということは、材料を固定するときに変形しやすく、精度に大きな影響を及ぼします。したがって、材料を変形しないように固定するには金属材料以上に工夫する必要があります。一方、切削抵抗が小さいことは金属材料と同様に強固に固定しなくてもよいことに、また、切削速度を高くすることができることとなります。しかし、耐熱温度が低いため溶けるといったことにも考慮しなければなりません。今回は、樹脂加工を専門に実施している業者の方をお招きしての勉強会となります。

リーダー：小林浩三（医学医療系技術室） 当日参加可

## 15:00 - 16:15 分科会 IV

## 職場における安全衛生への取り組み

各技術室で担当している安全衛生に関する業務内容・創意工夫などを（職場巡視に限らず）紹介し、情報交換及び意見交換を行いたいと思います。数理物質系技術室からは、外部機関による講習会への参加の記録など、日ごろの取り組みをご紹介します。

その後、意見交換や情報交換など自由な懇談の場ともしていきたいと思います。

リーダー：伊藤伸一（数理物質系技術室） 当日参加可